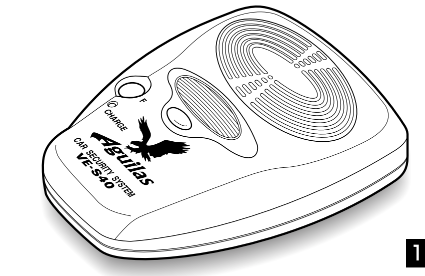
Aguilas
CAR SECURITY SYSTEM
# 監視郎
# VE-S40
取扱説明書/保証書



12V車専用

**このたびは、Aguilas「監視郎 VE-S40」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。**
**本機は、車内に装着し、車輌への接近やウィンドウへの衝撃、ドア開、車内への侵入を感知すると、抑止効果のある光、サイレン、または、ボイスアラームとサイレンの組み合せにより警告・警報を発し、車上荒らしや盗難を未然に防止する防犯装置です。また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当する移動体検知センサー用無線設備です。**

### ⚠注意

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

ユピテル工業株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS0625

本機をご使用になる前に、付属のニッケル水素電池を装着し、1時間以上充電してください。充電するときは、本機とシガーライターソケットに付属のシガープラグを接続し、車輌のエンジンをかけてください。
※充電中は本機バッテリーカバー付近が熱くなりますが、故障ではありません。

## 保 証 書(持込修理)

本書は、本書記載内容(下記記載)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

| | |
|---|---|
| 品番 | 監視郎 VE-S40 |
| S/No. | |

| | | |
|---|---|---|
| お買い上げ日 | | 年 月 日 |
| 保証期間 | | 対象部分 機器本体(消耗部品は除く)お買い上げの日から1年 |
| お客様 | お名前 | 様 |
| | ご住所 | 〒<br>TEL( ) |
| 販売店 | 店名<br>住所 | 上記に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書等、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。 |

無効

### <無料修理規定>

1. 記載の保証期間内に、本書に従った正常な取り付け・接続、使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。尚、本製品を取り付けたことによる車輌の故障や事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
   (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
   (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
   (ヘ) 本書のご提示がない場合
   (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
   (リ) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

**修理メモ**(症状をなるべく詳しくご記入ください。「故障内容」「取り付け車種・年式」)

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理について詳しくはアフターサービスについてをご覧ください。

## 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠**警告**：警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠**注意**：注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

### 絵表示について

⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

⊘ ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

### ⚠電波法に関してのご注意

- ⊘ 本体裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- ⊘ 本機は日本国内での使用を目的とした商品です。海外で使用することはできません。
- ⊘ 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

### ⚠警告

⊘ **車内に人(特に子供)やペットがいるときには、本機の設定をしない**…動きを感知し、警告・警報機能がはたらき、大音量を発生しますので、聴覚障害やストレスを与える恐れがあります。

⊘ **水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない**…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ **運転中は絶対に操作しない**…わき見運転は重大事故の原因となります。設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

⊘ **穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない**…感電や故障の原因となります。

⊘ **機器本体および付属品を改造しない**…火災や感電、故障の原因となります。

❗ **取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付ける**…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

❗ **万一、キャビネットを破損した場合は、すぐにシガープラグを抜き、電池を取りはずす**…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

⊘ **バッテリーに直接接続しない**…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない**…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⊘ **電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。電源コードが傷んだら使用しない**…感電やショートによる発火の原因となります。

❗ **シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよくふく**…接触不良を起こして火災の原因となります。また、接触不良を起こしていると、正しく動作しません。

❗ **シガーライターソケットは単独で使う**…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

❗ **シガープラグは確実に差し込む**…接触不良を起こして火災の原因となります。また、接触不良を起こしていると、正しく動作しません。

⊘ **12V車以外では使用しない**…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

⊘ **ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしない**…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ **煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない**…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜き、取りはずした電池とともに本機をご持参のうえ、販売店に修理をご依頼ください。

⊘ **エアバックの近くに取り付けたり、配線をしない**…万一のとき動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、電源コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。

⊘ **指定の電池以外は使用しない**…安全のため、指定の電池以外は使用しないでください。

### ⚠注意

❗ **取り付けは確実に行う**…落ちたりして、ケガの原因となります。

⊘ **シガープラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない**…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。

❗ **お手入れの際は、シガープラグを抜く**…感電の原因となります。

## ご使用にあたって

### *使用上のご注意*

■付属のニッケル水素電池装着後、使用前に1時間以上充電してください。充電は、本機とシガーライターソケットに付属のシガープラグを接続し、車輌のエンジンをかけてください。
※走行中に充電され、エンジンを切る(エンジンキーをOFF)と自動的にセキュリティが設定(監視モードをACC連動に設定している場合)されますので、常時シガーライターソケットに接続しておいてください。

■監視モードをACC連動に設定している場合、ガソリンの給油などでエンジンを切って車内に待機する際は、スタンバイ時間中にFボタンを押して、セキュリティを解除してください。
※監視モードをリモコンに設定している場合にFボタンを押すとセキュリティが設定されます。

■シガーライターソケットに常時電源が供給される車輌は監視モードをリモコンに設定してリモコンでセキュリティの設定/解除を行ってください。

■監視モードをリモコンに設定している場合、車輌走行中であってもリモコン操作でセキュリティが設定されます。走行中はリモコン操作を行わないでください。また誤ってリモコン操作がされないように十分注意をしてください。

■強い雨や雪、雹(ヒョウ)などを感知して警報する場合があります。

■ウィンドウに雪が積もっていると、接近を感知できにくい場合やできないことがあります。

■車輌の窓ガラスにウィンドウフィルムが貼ってある場合、そのフィルムの材質によっては、接近感知ができなくなったり、感度が低下する場合があります。

本機は、センサーにより異常を感知し、警告・警報を発する防犯装置で、イタズラ、盗難を完全に防止できるものではありません。
また、本機の動作の有無にかかわらず発生した盗難事故、イタズラなどによる損害、被害に対しての責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

### *付属品*

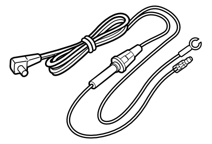
ご使用前に付属品をお確かめください。

- ●リモコン(CR1616内蔵 /1)
- ●サンバイザークリップ(1)
- ●リング(1)
- ●シガープラグ(1)
- ●コードクリップセット(1)
- ●本書(保証書)
- ●マジックテープ(1)
- ●ワーニングステッカー(1)
- ●ニッケル水素電池(1)

※ワーニングステッカーは、自動車の前面ガラスおよび運転席側面ガラスには貼りつけないでください。

### *別売品のお知らせ*

電源用直結コードOP-20
1,500円(税別)
シガーライターソケットを使わずに、電源端子(ヒューズボックス)から直接電源をとる場合に使用します。(OP-20の他に市販の平型ヒューズタイプ電源取り出しコードが必要です)



### 日頃から防犯をお心がけください

1 エンジンキーを付けたままの状態で車輌から離れない。
2 車輌から離れるときは、すべてのドアがロックされていることを、必ず確認する。
3 駐車中は、すべてのウィンドウを完全に閉める。
4 車内に貴重品を置かない。貴重品でなくとも、目につく物はできる限り置かない。
5 駐車するときは、できるだけ「明るい」、「人通りのある」場所を選ぶ。

## 特 長

### 1. 高性能マイクロ波センサーが愛車を監視。車輌への接近や、ウィンドウへの衝撃、ドア開、車内への侵入を感知して警告・警報。

高輝度LEDの点滅による"みはり効果"と高性能マイクロ波センサーにより、車上荒らしや盗難などの防犯効果に威力を発揮します。

### 2. サンバイザーまたはダッシュボードに付属のクリップやマジックテープを使って取り付け。あとはシガーライターソケットから電源をとるだけの簡単取り付け。

### 3. 光、サイレン、ボイスアラームの組み合わせによる効果的な警告・警報。

異常を感知したときには、警告ランプ(高輝度クリプトンランプ)が点滅し、サイレン、またはボイスアラームとサイレンの組み合わせにより、効果的に警告・警報します。(ボイスアラームは日本語または英語を選択できます)

**[ボイスアラームの内容]**(ドア開や車内侵入を感知したときなど)

| 日本語 | English |
|---|---|
| 異常を検出しました。 | Intruder detection. |
| 解除してください。 | Cancel the function. |
| 警告します。 | Warning. |
| すぐに退去しなさい。 | Evacuate immediately. |
| 不法侵入を通報します。 | This is an invasion alert. |
| <ローバッテリー検出時><br>電池の容量がありません。 | Battery needs charging. |

●状況により、光、サイレン、ボイスアラームが次のように組み合わされた警告・警報を行います。
※ボイスアラーム、サイレンによる警告・警報中は数秒ごとに警告ランプが点滅します。
※車輌の大きさや周囲の環境により、下記の目安とは異なる場合があります。
※車輌の前方向は、機構上、接近感知が出来ません。ウィンドウへの衝撃は感知できます。
※RV車やミニバンなどの大きな車輌では、接近を感知出来ない場合があります。

■不審者の接近やうろつき

- 車輌への接近を感知したとき･･･警告音『ピッ』が鳴り、警告ランプが1回点滅します。さらに、異常感知が7秒間続くと、サイレンによる警報となります。(警告音キャンセル機能が設定されていると7秒間の異常感知があってもサイレンによる警報は行いません)
  車輌への接近をボイスアラームとサイレンによる警告・警報に選択することもできます。(ウィンドウへの衝撃感知時もボイスアラームとサイレンによる警告・警報となります)
  ※車輌の大きさ、周囲の環境によっては、接近感知時にもドア開/車内侵入の警告・警報になる場合があります。
  ※警告ランプは感知した動体の大きさや移動速度によっては点滅しないことがあります。

■ウィンドウへの衝撃、破壊等

- ウィンドウへの衝撃を感知したとき(車上荒らしなど)…警告音『ピッ』が鳴り、警告ランプが1回点滅します。ボイスアラームとサイレンによる警告・警報を選択することもできます。(車輌への接近感知時もボイスアラームとサイレンによる警告・警報となります)
  ※警告ランプは感知した動体の大きさや移動速度によっては点滅しないことがあります。

■ドア開や不審者の車内侵入、車内での動き

- ドア開や車内侵入を感知したとき(車上荒らし、車輌盗難など)…ボイスアラームとサイレンを組み合わせた効果的な警告・警報、またはサイレンによる警報(約60秒間)を選択できます。

一連の警告・警報終了後は、再度、監視動作となり、連続して異常を感知している場合は、警告・警報を行います。また、連続して異常を感知した場合や、ドアが開くのを感知して警告・警報した場合は、警報終了後その履歴を残し、セキュリティ解除時にブザー音でお知らせします。

### 4. 3段階の感度設定が可能。

車輌の大きさや駐車環境に応じて、感度(感知エリア)を設定(3段階)できます。また、スーパーの駐車場など、人の出入りが多い駐車場で警告音を鳴らさない「警告音キャンセル機能」を搭載しました。
※警告音キャンセル機能を設定している場合でも、ドア開や車内侵入を感知したときなどには、ボイスアラームとサイレンまたはサイレンでの警報を行います。また、感度の設定状況や車輌の通過など、大きな動きを感知した場合は警告・警報を行う場合があります。

### 5. エンジンキーに連動したセキュリティの設定/解除、またはリモコン操作によるセキュリティの設定/解除ができます。

監視モードをACC連動に設定している場合は車輌のエンジンを切ると約1秒後にスタンバイ時間となり、その後、一定時間(60秒またはオート)を経過すると、自動的に監視動作に入ります。またエンジンをかける(エンジンキーがACCまたはON)と自動的にセキュリティが解除されます。
※スタンバイ時間をオートに設定した場合は、連続して約10秒間に異常感知がないと監視動作に入ります。スタンバイ時間中は、ドアの開閉、乗り降り、荷物の積み降ろし(オートに設定の場合は、これらの動作を終了してから約10 秒間)などがあっても警告・警報しません。

### 6. IDコピーガード機能付き小型リモコン。

商品ごとに個別のIDコードを設定。万が一、IDコードをコピーされても不正なセキュリティ解除を防止するIDコピーガード機能を搭載しているので安心です。

### 7. 高輝度LED の点滅による"みはり効果"で、盗難やイタズラを未然に防止。

監視中は、みはりインジケーター(高輝度LED：赤色)がゆっくり点滅し、"みはり効果"を演出します。

### 8. 走行中に自動充電し、1時間の充電で約1週間の連続監視※が可能。

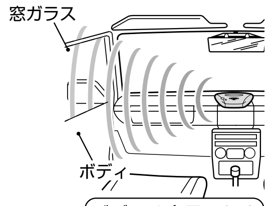
エンジンをかける(エンジンキーがACC またはON)またはリモコンのRESETボタンを押すとセキュリティが解除され、電池の状態に応じて自動的に充電(初期充電、急速充電またはトリクル充電)されます。充電1時間で、約1週間の連続監視ができます。(監視中に警告・警報を2回行った場合を含む) また、電池の充電容量が不足している場合は、車輌のエンジンをかけたとき(エンジンキーをACCまたはONにしたとき)に約10秒間バッテリーインジケーター(高輝度LED：緑色)が点滅し、アラーム音とボイスアラームで充電が必要であることをお知らせします。
※監視モードをACC連動に設定している場合。

### 9. ターボタイマー、リモコンエンジンスターターとの併用が可能。

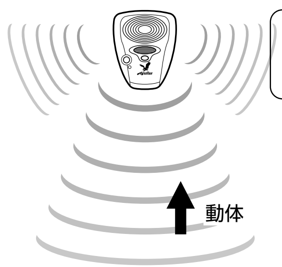
※他社製エンジンスターターでアクセサリー電源の制御をしていないものとの併用はできません。

### マイクロ波センサーについて

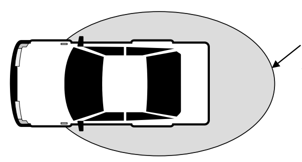
マイクロ波センサーは、ドップラー効果によって、センサー周辺(車輌周辺)の動体を感知します。車輌周辺の感知は、ウィンドウガラスを通して車外に電波バリヤを作り、接近を感知しますので、電波透過の悪いウィンドウフィルム(金属などを含んでいるもの、ミラーフィルムなど)を貼ってある場合や、ウィンドウより低い場所での動きは感知できない場合があります。
また、本機はセンサー前面方向に電波を発振していますので、車輌側面に比べ後方に強い指向性があります。その反面、車輌前方は車内での電波反射による動体感知となるため、接近等の感知ができません。



ボディは金属のため電波を通しません。そのため、窓ガラスより低い場所での動体は感知できません。



不審者の接近やウィンドウへの衝撃、ドアの開閉など動体を直接感知。



マイクロ波バリア
検出エリアは感度切替スイッチによって、車輌の大きさや駐車環境にあわせた3段階の設定が可能。

※本機は車輌後方に強い指向性があるため車輌後方の通過車輌や人の動きに過敏な反応を示す場合があります。

## 各部の名称と働き

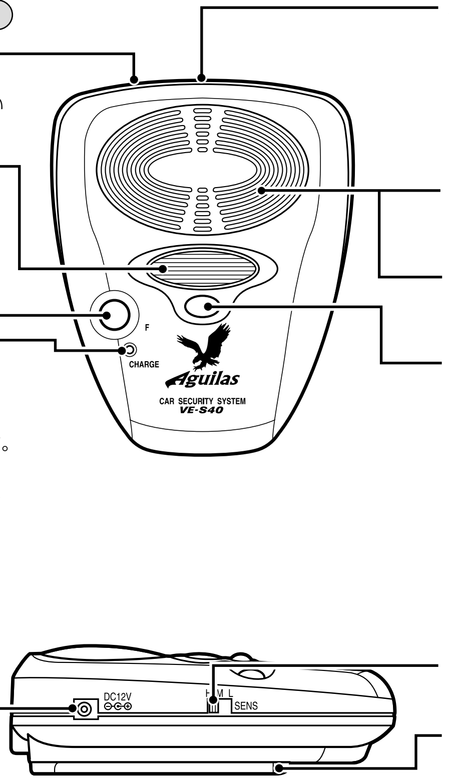
**本体**

**拡張ユニット接続端子**
何も接続しません。
※今後、拡張ユニットが用意された場合にご使用いただく端子で、現状では何も接続しません。

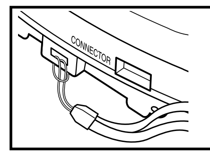
**警告ランプ**(高輝度クリプトンランプ)
警告・警報中に点滅します。

**Fボタン[F]**
警告音キャンセル機能、監視解除、スタンバイ時間の設定を行います。

**バッテリーインジケーター[CHARGE]**
(高輝度LED:緑色)
充電中は点灯します。
※監視モードをリモコンに設定している場合で、監視動作解除中に本機に給電すると点滅します。
※ローバッテリーを検出すると、エンジンキーをACCまたはONにしたとき約10秒間点滅します。



**ストラップ取付け穴**



市販のストラップなどを取り付けてサンバイザーアームに結び付けることができます。

**サイレン**
警告・警報音を出力します。
110dB/15cm

**スピーカー**
ビープ音、ボイスアラームを出力します。
ボイスアラーム 70dB/15cm以上

**みはりインジケーター**(高輝度LED:赤色)
車輌のエンジンキーがOFFまたは、リモコンのSETボタンを押すと、監視動作に入るまでは早い点滅をします。
監視動作中は遅い点滅になり、盗難やイタズラを未然に防止します。

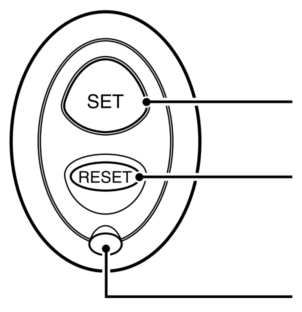
**DC12Vジャック[DC12V]**
付属のシガープラグを接続して、シガーライターソケットから電源を供給し、装着したニッケル水素電池への充電を行います。

**感度切替スイッチ[SENS]**
センサー感度を3段階に切り替えます。

**バッテリーカバー内**
**ディップスイッチ**
警報モード、ボイスアラームの日本語・英語、監視動作のACC連動・非連動を選択できます。

**電池収納部**
付属のニッケル水素電池を装着します。

**IDコピーガード機能付き小型リモコン**



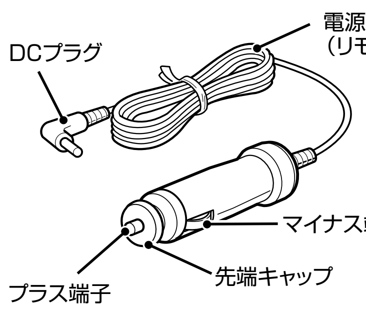
**SETボタン**
セキュリティの設定ボタン。

**RESETボタン**
セキュリティの解除ボタン。

**リング取り付け用穴**

※リモコン裏面のシールは、はがしてご使用ください。
※リモコンの信号には微弱電波を使用しています。車輌から1.5m以内でお使いください。

**シガープラグコード**

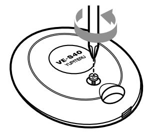


DCプラグ
電源コード(約3m)
(リモコン用アンテナ)
マイナス端子
プラス端子
先端キャップ

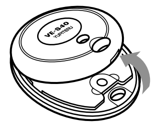
## リモコンの電池交換

購入時には電池が内蔵されていますのでそのままご使用ください。
リモコンの電池は約2年(1日10回使用)が目安となります。
※リモコンでの操作範囲が狭くなったり、操作できなくなった場合は早めに市販のボタン電池(CR1616)と交換をしてください。

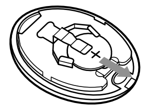
1 リモコンケース裏面のビスを外す



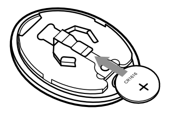
2 ケース下部の溝を開くようにしてケースを開ける



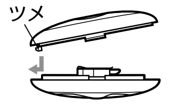
3 電池を取り出す



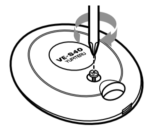
4 新しい電池を入れる
※電池の向きに注意してください。(+を上にする)



5 3ヶ所のツメを引っかけてケースを閉じる



6 ビスを締める

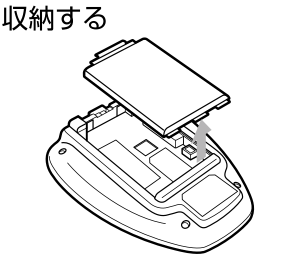


※付属(内蔵)の電池はモニター用ですので、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。

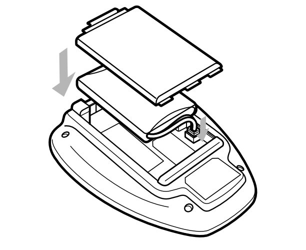
## 付属のニッケル水素電池を装着する

はじめてご使用になるときは、付属のニッケル水素電池を装着後、車輌のエンジンをかけて1時間以上充電してください。
※充電中は本機バッテリーカバー付近が熱くなりますが、故障ではありません。

1 バッテリーカバーを開け、電池のコネクターを、ケース内のジャックに差し込み、電池を収納する



2 コードを挟まないように注意して、バッテリーカバー閉める



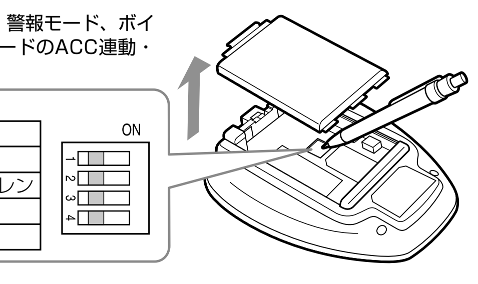
- 本機は、専用のニッケル水素電池を使用しています。安全のため、専用電池以外は使用できません。新しい電池と交換するときは、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所、サービス部にご相談ください。
- 電池には寿命があります。十分な充電ができなくなったら、新しいものと交換してください。(使用状況にもよりますが、約3〜5年を目安にしてください)

# 各種設定

本体バッテリーカバー内のディップスイッチで、警報モード、ボイスアラームの日本語、英語の切り替え、監視モードのACC連動・非連動の設定ができます。

※工場出荷時全てOFF側

| | | OFF | ON |
|---|---|---|---|
| 1 | ドア開検出 | 音声+サイレン | サイレン |
| 2 | 車外検出 | 警告音 | 音声+サイレン |
| 3 | 音声切替 | 日本語 | 英語 |
| 4 | 監視モード | ACC連動 | リモコン |



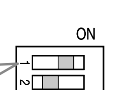
## ドア開検出の警報設定

ドア開検出をサイレン側に切り替えると、ドアが開けられた場合、サイレンのみで警報します。

**1** バッテリーカバーを開け、電池を取り出す

**2** バッテリーケース内のディップスイッチNo.1(ドア開検出)をボールペンの先などで切り替える

音声+サイレン ⟷ サイレン
サイレン側に切り替えると、ドア開時にサイレンのみで警報します。



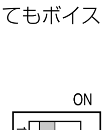
※ ドア開検出をサイレンに設定していても、車外検出を音声+サイレンに設定すると、異常感知時のすべての警告・警報は音声+サイレンになります。

## 車外検出の警報設定

車外検出を音声+サイレンに切り替えると、車輌への接近やウィンドウへの衝撃に対してもボイスアラームとサイレンによる警告・警報を行います。
※ 車輌への接近とウィンドウへの衝撃感知時の警報は個別に設定できません。

**1** バッテリーケース内のディップスイッチNo.2(車外検出)をボールペンの先などで切り替える

警告音 ⟷ 音声+サイレン
音声+サイレン側に切り替えると、車輌に近づく程度でボイスアラームとサイレンによる警告・警報を行います。

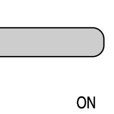


## ボイスアラームの音声切替

ボイスアラームを英語にすることができます。

**1** バッテリーケース内のディップスイッチNo.3(音声切替)をボールペンの先などで切り替える

日本語 ⟷ 英語
英語側に切り替えると、ボイスアラームが英語になります。

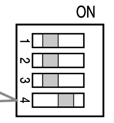


## 監視モードの設定

車輌のアクセサリー電源とセキュリティ設定の連動/非連動が選択できます。
外国車などで常時シガーライターソケットが通電している車輌やエンジンキーとセキュリティ設定を連動したくない場合はリモコン側に設定してください。
常時アクセサリー電源が通電している車輌では、車輌のバッテリーが低下するまで連続監視を行いますので、2週間に1度程度は走行して車輌のバッテリーを充電してください。

**1** バッテリーケース内のディップスイッチNo.4(監視モード)をボールペンの先などで切り替える

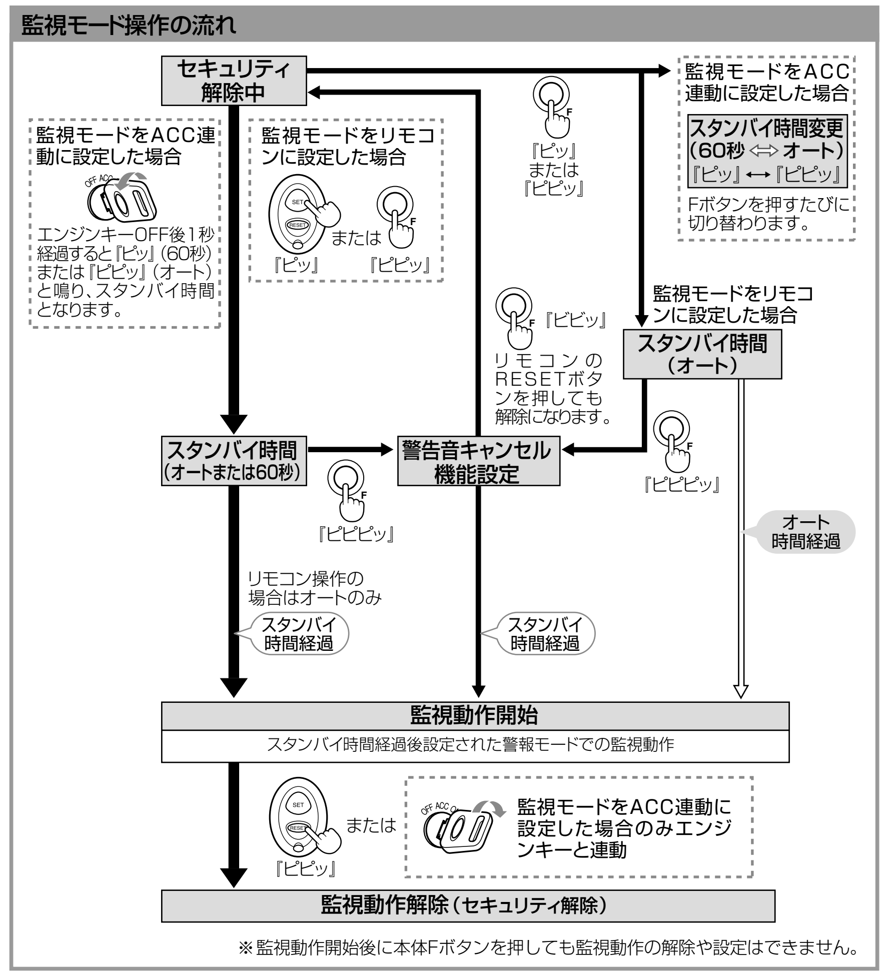
ACC連動 ⟷ リモコン
リモコン側に切り替えると、車輌のアクセサリー電源とセキュリティ設定/解除が連動しなくなります。



ディップスイッチNo.4をリモコン側に切り替えるとリモコン操作および本体Fボタンのみでのセキュリティ設定となります。
なお、常時シガーライターソケットに通電している車輌にリモコン側に切り替えた本機を初めて接続する場合や、DCコードをつなぎ直した場合は、急速充電が開始され車輌のバッテリーに負担がかかります。このような場合は、接続後エンジンを始動するか、リモコンのRESETボタンを押すとバッテリーの負担を軽減できます。

**2** コードを挟まないように注意して、バッテリーカバーを閉める

### 監視モード操作の流れ


セキュリティ解除中
監視モードをACC連動に設定した場合
スタンバイ時間変更（60秒 ⟺ オート）
『ピッ』⟷『ピピッ』
Fボタンを押すたびに切り替わります。
『ピッ』または『ピピッ』
監視モードをACC連動に設定した場合
OFF ACC
エンジンキーOFF後1秒経過すると『ピッ』(60秒)または『ピピッ』(オート)と鳴り、スタンバイ時間となります。
監視モードをリモコンに設定した場合
SET
RESET
または
『ピッ』
『ピピッ』
F
『ピピッ』
リモコンのRESETボタンを押しても解除になります。
監視モードをリモコンに設定した場合
スタンバイ時間（オート）
スタンバイ時間（オートまたは60秒）
警告音キャンセル機能設定
『ピピピッ』
『ピピピッ』
オート時間経過
リモコン操作の場合はオートのみ
スタンバイ時間経過
スタンバイ時間経過
監視動作開始
スタンバイ時間経過後設定された警報モードでの監視動作
または
『ピピッ』
監視モードをACC連動に設定した場合のみエンジンキーと連動
監視動作解除（セキュリティ解除）

※監視動作開始後に本体Fボタンを押しても監視動作の解除や設定はできません。

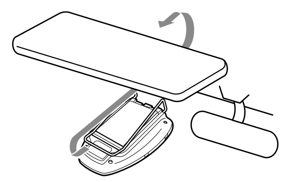
# 本体を取り付ける

付属のサンバイザークリップまたはマジックテープを使って、サンバイザーやダッシュボードに取り付けます。車輌によっては取り付け場所により、検出感度が変化する場合があります。マイクロ波センサーの感度設定と合わせて取付場所(サンバイザーまたはダッシュボード)をお選びください。

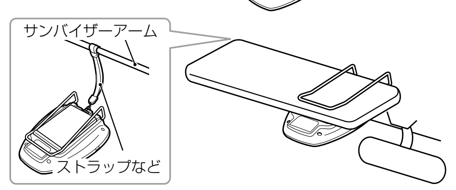
## サンバイザーに取り付ける

付属のサンバイザークリップを本体に取り付け、サンバイザーの車輌中央寄りに挟み込む

※サイドウィンドウ寄りに取り付けた場合、車輌の側面を均等に検出できないことがあります。

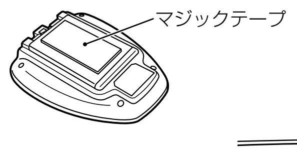


市販のストラップなどを利用して、サンバイザーアームに結び付けること(取りはずし防止)ができます。

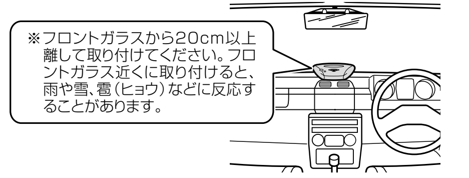

サンバイザーアーム
ストラップなど

## ダッシュボードに取り付ける

付属のマジックテープを本体裏に貼り付ける



ダッシュボード中央付近の運転に差し支えない場所に貼り付ける



※フロントガラスから20cm以上離して取り付けてください。フロントガラス近くに取り付けると、雨や雪、雹(ヒョウ)などに反応することがあります。

### ⚠警告

運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

### ⚠注意

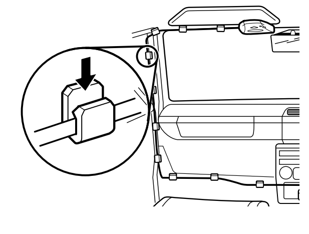
取り付けは、確実に行ってください。落ちたりすると、ケガの原因となります。

### *コードクリップの使いかた*

付属のコードクリップセットで、電源コードがきれいに配線できます。
コードクリップを両面テープで貼り付けます。

※シガーコードがリモコンのアンテナになっていますので、束ねたりせずに配線してください。

- 布などは避け、なるべく硬く、なめらかな場所を選び、接着面に触れないように貼り付けます。
- 貼る場所のチリや汚れをよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの粘着力を弱めます。



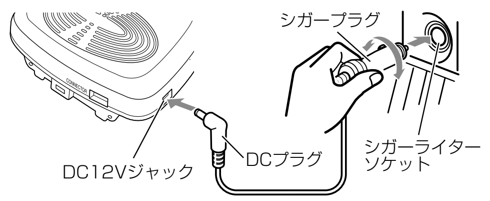
# 充電する

12V(マイナスアース)車専用です。DC12V以外では使用できません。

**1** 付属のシガープラグを、本機DC12Vジャックと車輌のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2〜3回左右にひねりながら差し込みます。

※シガープラグ、DCプラグは確実に接続してください。接触不良があると、走行中に警告・警報を発することがあります。


シガープラグ
DC12Vジャック
DCプラグ
シガーライターソケット

**2** 車輌のエンジンをかけて、充電する

エンジンをかけると、バッテリーインジケーターが点灯し充電を開始します。

本機は、シガーライターソケットに接続しておくことにより、車輌の走行中に(エンジンキーがACCまたはON)、充電*しますので、常時シガーライターソケットに接続しておいてください。

※ 監視モードがリモコンに設定されている場合は、常に充電されています。監視解除中に本体に給電されている場合はバッテリーインジケーターが点滅(2秒に1回)して、充電中であることをお知らせします。監視中は給電されていてもバッテリーインジケータは点滅、点灯しません。

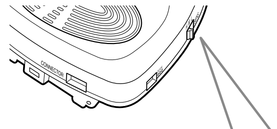
※ シガーライターソケットがエンジンキーと連動して電源がON/OFFする車輌で監視モードをリモコンに設定していると、エンジン始動(エンジンキーをACCまたはONにすると)毎に急速充電を開始します。急速充電中は、車輌のバッテリーに負担がかかりますのでこのような設定をした場合は、セキュリティ解除後、エンジンを始動するか、再度、リモコンのRESETボタンを押すとバッテリーの負担を軽減できます。

*充電時間の目安
…電池の状態に応じて初期充電、急速充電、またはトリクル充電を行い、1〜2時間でフル充電されます。(1時間の充電により約1週間の連続監視(一連の警告・警報×2回を含む)ができます)
※トリクル充電とは充電池が消耗しない程度に常に一定の小電流を流して充電する方法。
…急速充電中は充電電流が大きくなり、本機バッテリーケース付近が熱くなりますが故障ではありません。

- シガープラグは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、新しいヒューズ(1A)と交換してください。シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
- 交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
- 本機を車輌のバッテリーなどに直接接続すると大変危険です。シガープラグ以外から電源を取り出す場合には、別売のOP-20と市販の平型ヒューズタイプ電源取り出しコードなどを利用して電源ラインに接続してください。

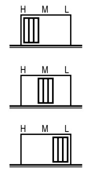
# マイクロ波センサーの感度設定

感度切替スイッチを切り替えて、車輌の大きさや駐車環境にあわせてセンサー感度(検出エリア)を設定します。また、本機取付場所(サンバイザー、ダッシュボード)によってもセンサー感度が変わることがあります。



※ミニバンやRV車などの大きな車輌では、下記3段階感度設定の動作イメージとは異なる場合や、接近を感知できない場合があります。

**●感度設定の目安**



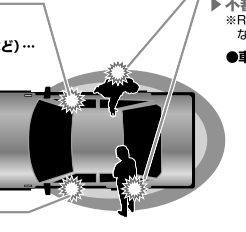
**高感度(H)**
車輌周辺の動体に対して、警告・警報をしたいとき

**通常感度(M)**
サイド・リアウィンドウ付近の動体に対して、警告・警報をしたいとき

**低感度(L)**
ドア開や車内侵入に対してのみ警告・警報をしたいとき

左記目安を参考に実際の動作を確認のうえ、感度設定を行ってください。Mに設定している場合でも、接近感知をする場合や、H設定でも接近感知ができないことがあります。このような場合は、感度切替スイッチの設定を変更するか、本機の取付場所を変更して、車輌の大きさや周囲の環境に合わせた設定を行ってください。

### 3段階感度設定【動作イメージ】



**M** …ウィンドウ付近
▶**ウィンドウへの衝撃、破壊等**
**●ウィンドウへの衝撃を感知したとき(車上荒らしなど)…**
警告音「ピッ」が鳴り、警告ランプが1回点滅します。
ボイスアラームとサイレンによる警告・警報を選択することもできます。(車輌への接近感知時もボイスアラームとサイレンによる警告・警報となります)
※警告ランプは感知した動体の大きさや移動速度によっては点滅しないことがあります。

**L** …車内
▶**ドア開や不審者の車内侵入、車内での動き**
**●ドアが開くのを感知したとき(車上荒らし、車輌盗難など)…**
ボイスアラームとサイレンを組み合わせた効果的な警告・警報、またはサイレンによる警報(約60秒間)を選択できます。

**H** …車の周囲
▶**不審者の接近やうろつき**
※RV車やミニバンなどの大きな車輌では、接近を感知できない場合があります。
**●車輌への接近を感知したとき…**
警告音「ピッ」が鳴り、警告ランプが1回点滅します。さらに、異常感知が7秒間続くと、サイレンによる警報となります。(警告音キャンセル機能が設定されていると7秒間の異常感知があってもサイレンによる警報は行いません)
車輌への接近をボイスアラームとサイレンによる警告・警報に選択することもできます。(ウィンドウへの衝撃感知時もボイスアラームとサイレンによる警告・警報となります)
※警告ランプは感知した動体の大きさや移動速度によっては点滅しないことがあります。

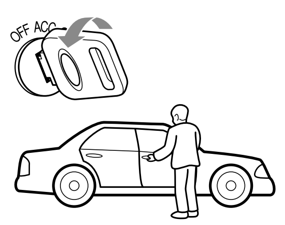
▶**風や道路振動によるわずかな揺れ**
▶**周囲の騒音**
**●警告・警報しません**

※車輌の大きさや周囲の環境により、上記動作イメージとは異なる場合があります。
※ボイスアラーム、サイレンによる警告・警報中は数秒ごとに警告ランプが点滅します。
※車輌の前方向は、機構上、接近感知が出来ません。ウィンドウへの衝撃は感知できます。

# セキュリティを設定する

**1** すべてのウィンドウを、完全に閉める

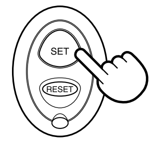
**2** エンジンを切り、降車してドアを閉める



エンジンを切り(エンジンキーをOFFにする)、監視動作に入るまでに車輌から出て、ドアを閉めてください。監視モードがACC連動モードに設定されている場合、エンジンを切るとビープ音が鳴り、自動的にスタンバイ時間となり、スタンバイ時間経過後監視動作(みはりインジケーターが遅い点滅)になります。

※スタンバイ時間中さらにリモコンのSETボタンを押すとスタンバイ時間が60秒に設定されていても、オートに変更されます。

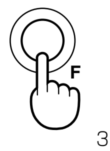
監視モードをリモコンに設定している場合、スタンバイ時間に入ったことを確認できる(みはりインジケーターまたはビープ音の確認できる)範囲でリモコンのSETボタンを押してください。リモコン操作後、本体が『ピッ』と鳴り約10秒間のスタンバイ時間経過後(異常感知がない場合)に監視動作に入ります。



## 警告音キャンセル機能について

エンジンキーをOFF後、または、リモコンのSETボタン操作後スタンバイ時間中にFボタンを1回押すと『ピピピッ』と鳴り、警告音キャンセル機能に設定されます。再度Fボタンを押すと監視動作を解除します。
警告音キャンセル機能中は、車輌の周囲を人が歩く程度(通常の監視動作で『ピッ』と鳴る程度の異常)では、警告音を発しません。ドア開や車内侵入などの大きな異常では通常の警告・警報をしますので、スーパーの駐車場など、人の出入りが多い場所に駐車するときなどにご利用ください。警告音キャンセル機能はACC ON、または、リモコンのRESETボタンを押すと解除されます。

※警告音キャンセル機能を設定している場合でも、感度の設定や車輌の通過など大きな動きを感知した場合は、警告・警報を行う場合があります。



1回押し『ピピピッ』
警告音キャンセル機能
▼
2回押し『ピピッ』
セキュリティOFF
▼
3回押し『ピッ』または『ピピッ』
通常監視準備

もう一度Fボタンを押すと、警告音キャンセル機能設定に戻ります。

## スタンバイ時間について

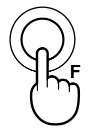
本機は、エンジンキーOFFまたはリモコンのSETボタンを押すと約1秒後にビープ音が鳴り、スタンバイ時間となります。その後、一定時間(60秒またはオート)を経過すると、監視動作になります。
※ スタンバイ時間をオートに設定すると、設定した直後から異常感知がない状態が約10秒間続くと監視動作に入ります。
※ リモコン操作でセキュリティを設定した場合、スタンバイ時間はオートになります。

- 監視動作に入らないようにするときは、スタンバイ時間中にFボタンを2回押すか、リモコンのRESETボタンを押してください。
- 監視モードをリモコンに設定している場合は、車輌のエンジンキーとは連動しません。
- リモコンのSETボタンを押すとスタンバイ時間経過後(異常感知がない場合は10秒後)に監視動作に入ります。スタンバイ時間中にFボタンを押して警告音キャンセル機能の設定や監視動作の解除ができます。

## スタンバイ時間の変更について（ACC連動モード設定時のみ有効）

スタンバイ時間を変更するときは、エンジンキーがONまたはACCのときにFボタンを押してください。

- スタンバイ時間は、Fボタンを押すたびに、図のように設定され、設定時間をビープ音でお知らせします。
  ※監視モードをリモコンに設定している場合は、Fボタンを押すとセキュリティが設定され、スタンバイ時間の変更はできません。
- 本機とターボタイマーを併用する場合、スタンバイ時間をオートに設定すると、アフターアイドリング中の車輌振動を感知している場合でも、警告・警報を発することなく、アフターアイドリング終了後に監視動作になります。



『ピッ』
(60秒)
▲▼
『ピピッ』
(オート)

# 監視動作

## 監視動作について

監視動作になると、みはりインジケーターが早い点滅から遅い点滅に変わります。監視中に車輌周辺の動体を感知した場合やドアが開いたときは、警告ランプが点滅し、ボイスアラームとサイレン(またはサイレンのみ)で警告・警報します。

| エンジンキーの位置/リモコン操作 | ACCまたはON/RESET | OFF/SET | |
|---|---|---|---|
| セキュリティの動作 | 動作解除 | 動作中 | |
| | | スタンバイ時間 | 監視動作(スタンバイ時間経過後) |
| バッテリーインジケーター | 点灯(充電モード)<br>※監視モードをリモコンに設定している場合は点滅(1回/2秒間) | 消灯 | 消灯 |
| みはりインジケーター | 消灯 | 早い点滅(0.6秒間隔)<br>☼→☼→☼ | 遅い点滅(5秒間隔)<br>☼——→☼ |

●監視中には、Fボタンを押しても監視動作を解除できません。

## 監視中に異常を感知すると

監視中に異常を感知したときには、次のような警告・警報を発します。

**[車輌への接近を感知したとき]**

| 車外検出を警告音に設定している場合 | |
|---|---|
| 警告音が『ピッ』と鳴り、警告ランプが1回点滅します。さらに、異常感知が7秒間続くと、サイレンによる警報となります。(警告音キャンセル機能が設定されていると、7秒間の異常感知があってもサイレンによる警報は行いません)<br>※警告ランプは、感知した動体の大きさや移動速度によっては点滅しないことがあります。 | |
| 車外検出を音声+サイレンに設定している場合 | |
| ボイスアラーム | 『ピッピッピッピッ……(10回)』<br>『異常を検出しました。解除してください』<br>『異常を検出しました。解除してください』<br>『ピッピッピッ……ピッ[サイレン]、警告します。警告します』<br>『すぐに退去しなさい。不法侵入を通報します』 |
| 警報 | 『キュイーン、キュイーン……キュイーン[サイレン]』(7回繰り返す) |
| ボイスアラーム | 『すぐに退去しなさい。不法侵入を通報します』 |
| ※警告・警報中は、警告ランプが数秒間隔で点滅します。約60秒の警告・警報動作後、監視状態に戻ります。(ウィンドウへの衝撃感知時もボイスアラームとサイレンによる警告・警報となります) | |

※ボイスアラームはサイレンに比べ、音量が小さくなっています。

**[ドア開や車内侵入を感知したとき]**
(ドア開検出を音声+サイレンに設定しているときの日本語での警告・警報)
※車内での動きを感知した場合や、車輌周辺での大きな動きを感知した場合にも以下のような警告・警報となります。

| | |
|---|---|
| ボイスアラーム | 『ピッピッピッピッ……(10回)』<br>『異常を検出しました。解除してください』<br>『異常を検出しました。解除してください』<br>『ピッピッピッ……ピッ[サイレン]、警告します。警告します』<br>『すぐに退去しなさい。不法侵入を通報します』 |
| 警報 | 『キュイーン、キュイーン……キュイーン[サイレン]』(7回繰り返す) |
| ボイスアラーム | 『すぐに退去しなさい。不法侵入を通報します』 |

ドア開や車内侵入を感知すると警告音『ピッピッピッピッ……(10回)』が鳴り、ボイスアラームとサイレンによる警告・警報を行います。警告・警報中は、警告ランプが数秒間隔で点滅します。約60秒間の警告・警報後、監視動作に戻りますので、万一車内侵入された場合でも、不審者の車内での動きを感知し、警告・警報を繰り返します。
※ボイスアラームはサイレンに比べ、音量が小さくなっています。

**(ドア開検出をサイレンに設定しているときの警報)**
ドア開検出をサイレンに設定しているときは、サイレンによる警報のみを60秒間行います。警告・警報中は、警告ランプが数秒間隔で点滅します。警報後は監視動作に戻りますので、万一車内侵入された場合でも、不審者の車内での動きを感知し、警報を繰り返します。

※車外検出を音声+サイレンに設定していると、異常感知時のすべての警告・警報は音声+サイレンになります。

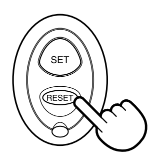
- 強い雨や雪、雹(ヒョウ)などを感知して警報する場合があります。
- 連続して異常を感知した場合や、ドア開や車内侵入を感知したときは、警報終了後に履歴として記録されます。この履歴は、リモコン操作でのセキュリティ解除時とエンジンキーをACC(またはON)にすると『ピーピーピーピーピーピー』と鳴らした後、リセットされます。
  ※異常検出の履歴をお知らせする機能で、『ピー』音の回数は異常感知の回数ではありません。
- 接近を感知した後、ドアが開けられた場合などでは、先に感知した警告・警報途中であっても、ドア開や車内侵入などの大きな異常を優先します。

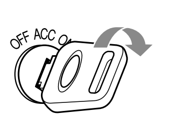
# セキュリティを解除する

車輌に近づきリモコンのRESETボタンを押す。

リモコンからの信号を受信すると、本体が『ピピッ』と鳴りセキュリティが解除されます。監視モードをACC連動に設定している場合で、リモコンでの解除を行わない場合は、ドアを開け、すぐにエンジンをかける。
エンジンをかける(エンジンキーをACCまたはONにする)とセキュリティが解除されます。

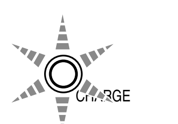
※監視モードをリモコンに設定している場合は、リモコンのRESETボタン操作以外で、セキュリティを解除することはできません。





# ローバッテリーアラームについて

監視中に電池の容量が低下したときは、監視動作を停止します。ローバッテリーアラームによって監視動作を停止した場合は、停止直後のエンジン始動時に(エンジンキーをACCまたはONにすると)バッテリーインジケーターが点滅(約10秒間)してアラーム音(『ピピピッ、ピピピッ、ピピピッ』)が鳴ってから、ボイスアラーム(日本語『電池の容量がありません』または英語『Battery needs charging』)で知らせます。



※常時シガーライターソケットが通電している車輌では監視中に充電を行っているのでローバッテリーアラームは発生しません。ただし、本機内蔵のニッケル水素電池の寿命時にローバッテリーアラームが発生する場合があります。

- 電池が完全に消耗したときには、バッテリーインジケーターやボイスアラームが動作しません。また、エンジンをかけた(エンジンキーをACCまたはON)ときにローバッテリーアラームが鳴るのは充電不足です。このような場合には、使用する前に、1時間以上充電してください。
  メモ：十分に充電をしているにもかかわらず、エンジンをかけるたびにローバッテリーアラームが鳴る場合は、監視中の警報が多く、電池の消耗が激しいまたは電池の寿命が考えられます。
- 電池には寿命があります。充電が十分できなくなったら、新しいものと交換してください。(使用状況にもよりますが、約3〜5年を目安にしてください)
  交換については、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

# 仕 様

＜本体＞
電源電圧：DC12V(シガープラグ入力電圧)
使用電池：DC3.6V(ニッケル水素電池)
発振周波数/出力：24.15GHz/10mW以下(技術基準適合品)
消費電流：監視中… 1.1mA(標準)
1.2mA(最大)
警報中… 430mA(標準)
500mA(最大)
充電中… 急速充電400mA(最大)
初期充電 80mA
トリクル充電 5mA
警報音圧：110dB/15cm(サイレン)
70dB/15cm以上(ボイスアラーム)
動作温度範囲：−20℃〜+70℃
本体外形寸法：80(W)×33(H)×101.5(D)mm(突起部を除く)
本体重量：134g(ニッケル水素電池、サンバイザークリップを含む)

＜リモコン＞
使用電池：CR1616(1個)
電池寿命：約2年(1日10回使用)
動作温度範囲：−10℃〜+50℃
外形寸法：36.7(W)×13(H)×50(D)
リモコン重量：11.5g

※仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。

# 故障かな？と思ったら

**修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部(添付の一覧表をご参照願います)にご相談ください。**

| 症状 | チェック項目 |
|---|---|
| 充電しない | ●シガープラグが外れていませんか。<br>●車輌のエンジンキーがACCまたはONの位置になっていますか。<br>●シガーライターソケットが正常に働きますか。シガーライターで確認してください。<br>●シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良を起こしていませんか。シガープラグを2、3回左右にひねりながら差し込み直してください。<br>●シガープラグ内部のヒューズが切れていませんか。切れていた場合は、新しいヒューズと交換してください。 |
| セキュリティが設定されない | ●本体電池の容量が低下していませんか。充電をしてください。<br>●電池のコネクターがはずれていませんか。バッテリーカバーを開け、確認してください。<br>●リモコンの電池容量が低下していませんか。リモコン電池を交換してください。<br>●車輌のエンジンキーのON/OFFと連動してシガーライターソケットの電源がON/OFFしますか。シガーライターソケットの電源が、エンジンの始動/停止と連動してON/OFFしない車輌があります。このような車輌では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給され続けますので、監視モードがACC連動に設定されているとセキュリティが設定されません。(シガープラグを抜くと設定できます)このような車輌に取り付ける場合は、監視モードをリモコンに設定して、リモコン操作でセキュリティの設定/解除を行ってください。<br>●監視動作に入るまでの時間(スタンバイ時間)が経過していますか。本機は、エンジンキーをOFFまたはリモコンのSETボタンを押すと約1秒後にスタンバイ時間となり、その後、一定時間(60秒またはオートから選択、リモコン操作の場合はオート)を経過しないと、セキュリティが設定されません。また、オートの場合は10秒間以上の異常感知が無い状態が続いた場合に監視動作に入ります。 |
| 警告・警報しない | ●電池の容量が低下していませんか。充電をしてください。<br>●エンジンキーがOFFの位置になっていますか。 |

# アフターサービスについて

*1.保証書(本書)*
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

*2.保証期間*
お買い上げの日から1年間

*3.対象部分*
機器本体(消耗部品を除く)

*4.修理をご依頼されるとき*
「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

●保証期間中のとき
保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで保証書とともに、機器本体と電池(電池を取り外したうえで)、シガープラグをご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

*5.アフターサービス等についてご不明の点は*
お買い上げ販売店、または下記ご相談窓口にご相談ください。ご相談の受付時間は、月曜日〜金曜日9：00〜17：30です。ただし土曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受付いたしておりません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

### *●ユピテルご相談窓口一覧*

お客様ご相談センター　**TEL. (0564)45-6515**

| 地　区 | 名称・電話番号・所在地 |
|---|---|
| 北海道 | 札幌営業所・サービス部　**TEL. (011)618-7071**<br>〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F |
| 青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島 | 仙台営業所・サービス部　**TEL. (022)284-2501**<br>〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F |
| 栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟・静岡(西部の一部地区を除く) | 東京営業所・サービス部　**TEL. (03)3769-2525**<br>〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F |
| 岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・静岡(西部の一部地区) | 名古屋営業所・サービス部　**TEL. (052)461-1281**<br>〒453-0053 愛知県名古屋市中村区中村町6-5 |
| 滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知 | 大阪営業所・サービス部　**TEL. (06)6386-2555**<br>〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10 |
| 鳥取・島根・岡山・広島・山口 | 広島営業所・サービス部　**TEL. (082)230-1711**<br>〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2 |
| 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄 | 福岡営業所・サービス部　**TEL. (092)552-5351**<br>〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19 |

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いないようご注意ください。